

財政問題

Q 18年度予算編成の基本方針は

A 本年度に引き続き超緊縮型で

年度の予算編成にどのように臨むか、伺います。

来年度の予算編成方針については、税収の

落ち込み、交付税の見直し等、国の改革の影響を受け、かつでない財源不足に陥っているのが現状であります。これまでに以上に政策、制度等歳出の徹底した見直し、合理化を行うなど一般歳出の伸びを厳しく抑制する方針であります。新年度予算は、統合保育所建設という大型事業の予定があるものの、本年度に引き続き超緊縮方と想定して作業に取り掛かっているとところであります。また、平成18年度事業における投資的予算については、新たな事業はなかなか出ない状況でありますので、基本的には、具体的かつ実施が確実な計画に限定し、その中で優先順位の高いものから

予算編成をおこなってまいります。「自立」をしていく当村としては、地域の活性化と住民福祉の更なる向上実現の為の施策を推進する為、今後更なる財源の効率的運用と、地方債の節度ある活用を留意して、健全な財政運営の堅持は使命であると考えております。

個性豊かで活力と潤いのある村づくりの為、全職員一丸となって英知と創意工夫をしながら予算編成をしてまいります。

その他の質問

Q カメモシの被害と今後の対策について。

A 本年度の白馬村の水稲は、収量は昨年並みであったがカメモシの被害が大量に発生した。原因については、出稲の時期とカメモシの発生の時期のタイミングが



あったこと、防除適期に雨天が続いた事が原因である。今後の対策として、集落単位の防除の検討をしたい。又、カメモシの発生を抑える為に畦畔の草刈の徹底と生産者の理解と協力が必要である。

Q 職員研修について。

A 行政もサービス業の原点に立ちかえり、あいさつ運動を徹底します。



下川 正剛 議員

Q 国が進めている三位一体の改革による地方

交付税の削減、観光不況による村税収の落ち込み、税金の滞納等、財政は大変厳しい状況であり、このような厳しい財政状況をのりきる為には、徹底した行財政改革が必要ではないかと考えます。過去の前例にとらわれず、庁内の機構を再検討し、事業の見直しや経費の削減等英知を結集して、行財政改革に取り組む必要があります。村長は三期目の最終年度を迎え、観光再生等、課題が山積するなかで、村民の期待にこたえる為、新